

式辞

厳しい冬が終わり、桜の花が咲きそろうこの良き季節、今日のこの良き日に、たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、平成二十九年度 茨城県立竜ヶ崎南高等学校、第三十五回入学式を挙行出来ますことは、本校にとりまして、この上もない喜びであります。

ただいま本校への入学を許可いたしました一一八名の新入生の皆さん。ご入学、誠にありがとうございます。教職員一同、並びに在校生一同は、皆さんを心より待ち望んでおりました。

本校は、ことしで創立三十五年を迎えます。これまで地域の期待を担う学校として、地域を支える人材を輩出してまいりました。これからも、その期待に応えるため、熱意と愛情を持って教育にあたっていく覚悟です。その

ために、授業を常に改善し、様々な学校行事を計画、実施し、進路指導を充実させ、部活動の活性化を図っております。しかし、どのような教育活動が用意されていたとしても、それを自らの成長の糧として取り組んでいくのは他ならぬ皆さん自身です。

どんなことにも積極的に挑戦し、この学校を三年後に巣立っていくときに、奄ヶ崎南高校を選んで良かった、ここで学んで良かったといえる、三年間を過ごして欲しいと願います。そのために、教職員一同、力を惜しまず皆さんをサポートしていく所存です。

公職選挙法等の一部改正に伴い、選挙権年齢が引き下げられ、満十八歳から二十歳未満の若者が新たに選挙に参加することとなつてから、ほぼ一年が過ぎました。昨年すでに高校三年生の一部が選挙を体験しました。今年も、三年生の一部の生徒は高校に在学しながら選挙に参加することになります。

皆さんは、国や社会を作っていく人間として、必要な資質を養うことが、これまで以上に求められています。そのためには、国や地域の課題を理解し、課題を様々な角度から考え、自分なりの考えを持ち、自分なりの根拠を持って自らの考えを述べ、他人の考えをよく聞いて、合意を作っていく、そんな態度を育んでいかなければなりません。

竜ヶ崎南高校においても、そのような人材を育てる教育を進めていきたいと考えております。

保護者の皆様に申しあげます。本日は、ご子弟のご入学、誠におめでとうございます。ご家庭におきましても、本校の教育方針をご理解いただき、学校と手をたずさえてご子弟の教育にあたっただけだと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

最後に、ご参席の皆様、益々のご健勝を
祈念申しあげ、式辞とさせていただきます。

平成二十九年四月七日

茨城県立竜ヶ崎南高等学校長 塚本敏雄